

【機械・一般事業】環境、医療・介護

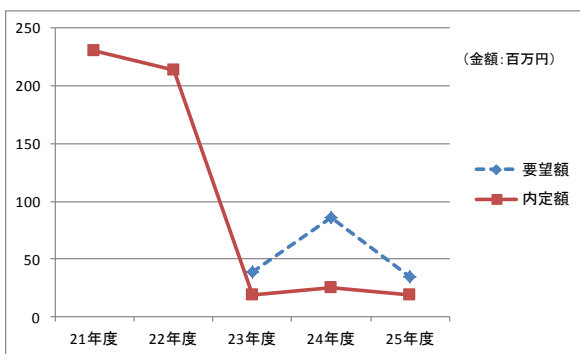
1. 補助の目的・概要

機械工業においても環境への配慮は当然のことであり、3R（リデュース、リユース、リサイクル）や省エネルギー・新エネルギー、低炭素・循環型技術による地球環境保護等は、従来から機械工業振興補助として重視してきた分野である。

平成23年度の機械工業振興補助においては、従来の環境関連技術に加えて、医療・介護関連機器を含めて、機械工業における環境、医療・介護分野等の振興を一般事業として支援した。

2. 補助実績（内定件数・金額）

環境、医療・介護

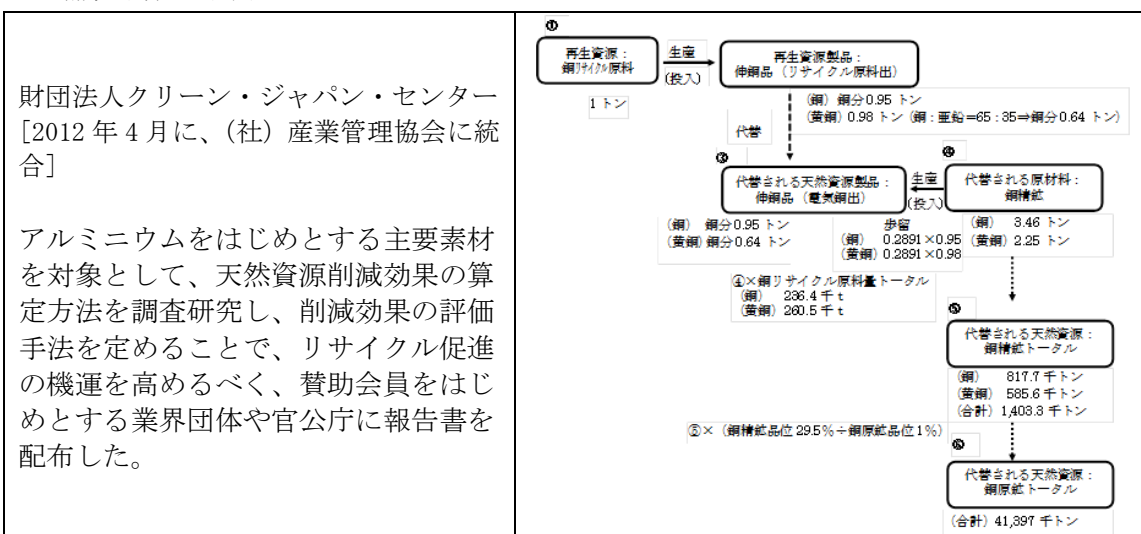


年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数* (件)	内定額* (百万円)
21年度			9	230
22年度			10	214
23年度	7	39	4	19
24年度	7	86	5	25
25年度	6	35	4	19

※辞退となった事業を除く

平成23年度においては、7件3,900万円の補助要望があり、そのうち環境に関する調査研究事業を中心に、4件1,900万円の支援を行った。

3. 補助事業の事例



一般財団法人日本エネルギー経済研究所

中東・湾岸諸国の新エネ開発及び省エネ推進の促進政策を、各国が直面する政治的、経済的、社会的な問題が提示する障壁等を踏まえて包括的に分析した「機械産業促進における省エネ等政策支援調査研究」報告書を作成した。また、「湾岸諸国に押し寄せる民衆運動の波一体制の行方とエネルギー政策への影響」のテーマで国際シンポジウムを開催し、GCC(湾岸協力会議)諸国と関係をもつ日本の民間企業や官公庁、中東やエネルギー問題に関心をもつ市民など、幅広い層に情報提供を行った。



4. 補助事業の成果

(財)クリーン・ジャパン・センターが行う、循環型社会における3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する調査研究事業について、支援を行った。

この事業は、産業廃棄物問題、資源環境の急激な変化、温室効果ガス排出削減問題等の対応策として、産業廃棄物や使用済み機械製品等の3Rを推進するため、3Rに関する技術及び社会システムについて、最新技術や関連法制度・施策等に関する情報収集、調査研究を行うものである(なお、同法人は平成24年3月31日をもって解散となった)。

また、(一財)日本エネルギー経済研究所が行う、機械産業における省エネ等政策支援事業への支援等を行うことにより、自然環境の保護や循環型経済社会の推進を図った。

他にも、(公社)日本分光学会が「生命・医療への分光光学の応用」という題名で開催した、分光光学国際シンポジウムに支援を行い、生命や医療分野における分析機器の基盤確立と発達、新しい機器の開発と実用化につながる議論が行われた。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象7件(1補助事業で複数項目を評価していることがあるため事業数とは異なる)のうち、5段階評価で全ての事業が評価4[比較的高い]であった。

事業者の自己評価等を踏まえJKAで評価を行ったところ、A++[極めて高い]が1件、A+[比較的高い]が5件、A[概ね十分]が1件と、すべての事業で補助事業として概ね十分と評価されるA以上の評価となっており、補助の目的である、機械工業における環境、医療・介護関連分野に資することができたと思われる。

6. 今後の検討課題

機械工業における環境問題の重要性、循環型経済社会の重要性は引き続き高く、今後も支援対象とすべき分野であり、具体的に環境保護や循環型経済社会の構築につながる事業を支援していくことが重要である。

なお、医療・介護関連分野についての要望が少ないため、ニーズ調査を行いつつ、補助事業について広く紹介していく。